

2023年度

Peach Women's Business School

第7回

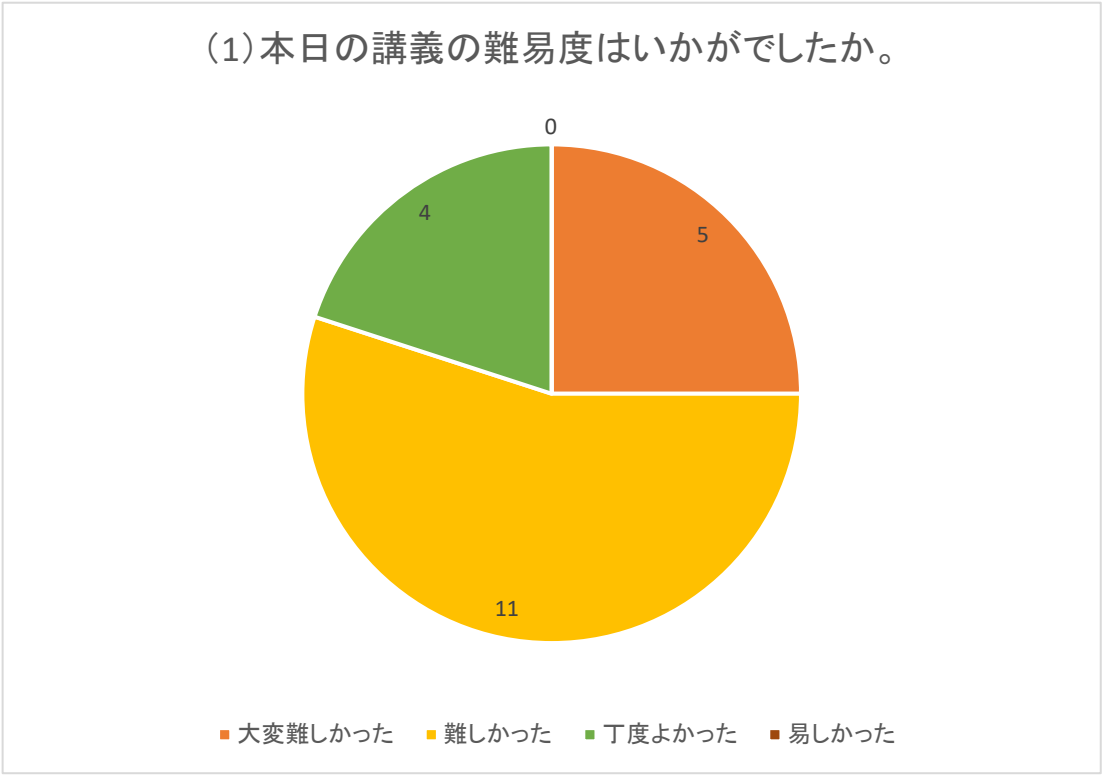
登壇者： 株式会社ポジティビティ 代表取締役
一般社団法人エグゼクティブプレゼンス 代表理事
松岡 孝敬 氏

講演テーマ： 「ロジカルシンキング」

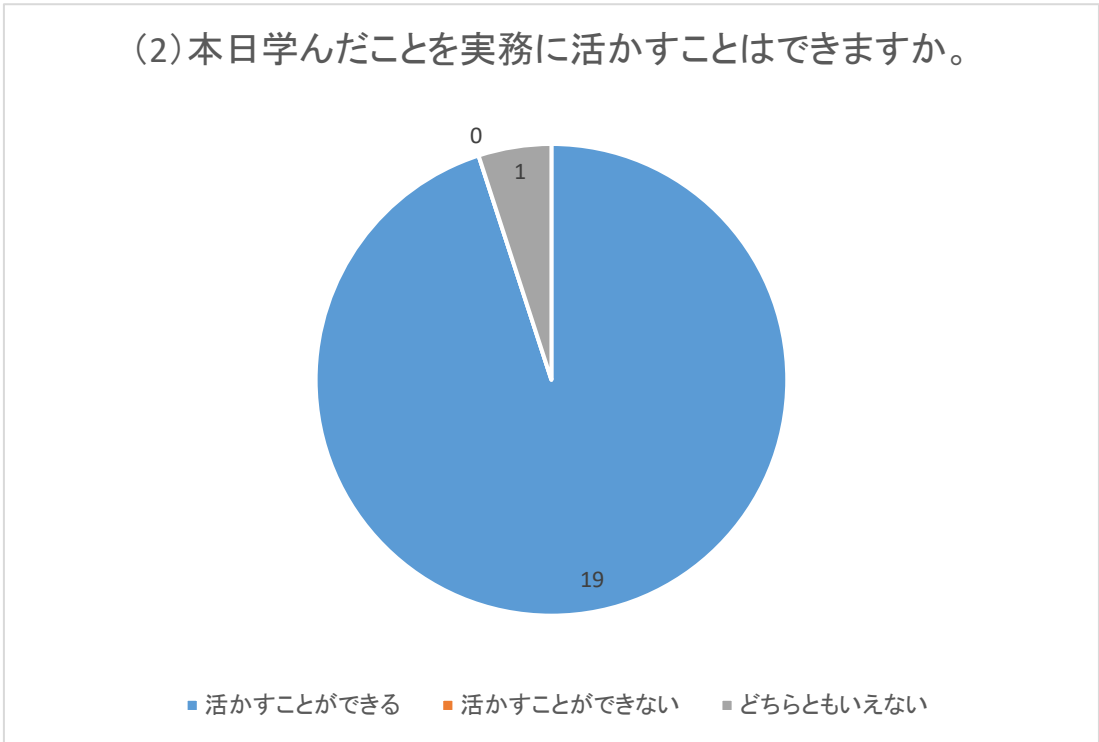
2023年度PWBS 第7回アンケート集計結果

研 修 日：2023年10月26日（木）
登 壇 者：株式会社ポジティビティ 代表取締役
一般社団法人エグゼクティブプレゼンス 代表理事
松岡 孝敬 氏
講演テーマ：「ロジカルシンキング」

（1）本日の講義の難易度はいかがでしたか。
【大変難しかった、難しかった、丁度よかった、易しかった】



（2）本日学んだことを実務に活かすことはできますか。
【活かすことができる、活かすことができない、どちらともいえない】



上記の理由をお聞かせください。

特に論拠を補足する裏付け、限定語、例外をしっかり組み立てれば、反論しにくい主張が確立しますという説明が非常に納得しました。今までの自分には足りなかった部分だと気付いたので、今後活かしていきたいと思います。

普段聞きなれない、「ロジカルシンキング」という言葉でしたが、今回の研修で、日々の業務の中でとても重要で役に立つスキルであるという事がわかりました。

「事実・根拠」「結論・主張」「論拠」を自分の頭の中で整理する事で、情報の信頼度や自身の理解度が向上する事を実感しました。今後のプレゼンや新しい情報に触れた際に本日の学びを活かしたいです。

ロジカルシンキングを学ぶことにより、論理的思考能力が向上して問題解決能力の向上につながると感じたため。

丁度良かったと回答しましたが、ワーキングで時間不足となるところもありました。営業の仕事において、社内と社外の架け橋になる機会が多く、また瞬時に物事を判断して対応する必要もあり、そうなった時に、それは何故そうなのか、そうしたいのか理解を得るためには、根拠や論拠をロジカルに説明しなければならないため。

最初のウォーミングアップから、回答はずしていて私は全くロジカルにシンキングできていないと気づかせて頂きました。その後のワークも難しかったです。

私にはないもので難しかったのですが、訓練を重ねることで「論理的思考」を身につけることもできるかなと感じました。

将来的に生かす事は出来るかもしれないが、現時点ではまず自身の考え方を変える必要があると感じたため。先入観を捨て信念を解き放つ事が出来た時、実務に生かす事が出来るであろうと思う。

仕事をする中で、事柄をありのままに正しく観るということは、日々必要だと感じていたため、「事実を調べる」ときの3つの姿勢や、「深く論拠を調べる」というのは、意識して取り組みたいと思いました。実際にワークをする中で、自分には少し難しく感じ、トゥルーミンモデルを正確に見分けるには、トレーニングが必要と実感しましたが、今回の講座を通して、もっと勉強してみたいと興味を持ちました。

論理が自分の都合の良い情報や事実ばかりを揃えていないか、深掘りされているか、筋が通っているか、政治家の話し方を例えにして、丁寧に抗議いただきました。隠された根拠を調べるところが難しく、普段使わない思考を働かせてトレーニングできました。答えは一通りではないところもロジカルシンキングの奥の深さを感じました。

ビリーフやスコトーマにより、同じ事柄であっても受け取り方が千差万別であることを知りました。だからこそ、他者に自分の意見を正確に伝えるために、ロジカルシンキングを用いて、わかりやすく主張することが大切だと思いました。

①人はどうしても自己の判断や考え方で物事をみており、その枠を取り払い、先入観なく物事をみるべきであること。②また、対話をする際は感情や主張のみを相手に伝えがちだが、その論拠を示して理解を求めること。①②の訓練は、繰り返し行い身に付けていく必要があることを学びました。

自分の思い込みを取り払い論拠を明らかにすることで、より正確に物事を捉えられるだけでなく新しい視野や可能性を得ることができると感じました。

ロジカルシンキングについては、何度か学習したことがありましたが、改めて丁寧にご説明いただき、より一層深く自分の中に浸透したように思います。「事実・根拠」「主張・結論」と「論拠」を整理することで、より他者にわかりやすく説明できるようになること、「論拠」について客観的事実に基づいているか確認し、自分の主張が論理的に正しいことは、日常業務において意識しておくべき重要な項目だと思いました。

ロジカルシンキングの研修はいくつか受講しているが、それぞれアプローチが異なり、新たな気づきを得ることができたから。

「トレーニング」や「アイスブレイク」ができたので、具体的に、どのように考えて実践していくのかを学ぶことができました。また、普段は意識できていない、ということが分かりました。「論拠」を示さずに終わることが多いのですが、そのために理解が食い違っていることも多いのではないかと感じたので、論拠を示した説明を心がけたいと思います。

都合の良い情報ばかり収集しているからか、思考の癖や固さがわかりました。特に言葉で伝える点はとても苦手なのですが、今回学んだようにシンプルに事実を伝え、自分が伝えたいことは何かを論拠を交えて話を組み立てる力を強化していこうと思います。

何が事実でどれが推測や意見なのか正確に判断するのが難しかったです。切り取り方により受け取り方が変わるので、事実かどうかなどの前提条件を把握できる知識が必要だと改めて実感しました。

ロジカルシンキングにおける考え方を今まで聞いたことがなかったため、新たな観点として取り入れていきたい。

ロジカルシンキングは、これから主張を伝える機会が増えていく中で、ますます必要となるスキルの一つだと考えます。自分の伝えたいことを分かりやすく主張できるよう、今回学んだ組み立て方を意識し、取り入れていきたいと思います。

(3) 本日の研修の感想をお聞かせください。

ケーススタディやグループワークではかなり文章を読み込んだので疲れました。今までの課題よりも難しいという印象でした。グループワークでは人によって解釈が違ふということが興味深かったです。

自分の上司に業務で説明や相談をする際、いつも「その情報は確かなの？理由は？根拠は？」と聞かれていたことを思い出しました。今回の研修を受け、いかにロジカルシンキングの思考が自分に足りていなかった事がわかりました。いくら自分の主張を述べても、事実から明確な論拠に裏付けられた結論が抜けていると、説得力も乏しく、理解も賛同も得られない。今回の研修で学んだ事を活かし、今後は、一旦、ロジカルシンキングの思考にならい、わかりやすい結論・主張に導けるよう、努力したいと思います。

最後のマーケティングのグループワークが非常に面白かったです。考える時間が限られていた事もあり、自分の中で熟考できませんでしたが、短時間で情報を整理し、グループ内で活発にロジカルな討論が出来るようトレーニングをしていきたいです。

いつもより頭を絞る必要のある研修だと思う。仕事においては、論理的であることを求められるため、身に着けたいスキルだと思う。実践のなかで、意識して培っていく必要があると思った。

最後のグループワーク4、コーヒーチェーン店の戦略の提案が面白かったです。回答の選択肢を3つを瞬時選ぶことが出来ましたが、相手に提案する際の説明のところで、整理して、組み立てるといところが少々億劫に感じてしまい、自分の弱点だと思いました。こういうトレーニングは必要だと改めて感じました。講師の例文のチョイスも面白かったです。

「根底から疑ってかかれ！」ということが、とても苦手で私は事実をありのままに見ることは出来るけど、隠された根拠を見つけるのが不得意だということが認識できてよかったです。

関西人が日常行う「ツッコミ」や井戸端会議の中で、関西人・女性は「隠された意見や推測」には気づきやすいのかもしれないと思いました。自分の意見や推測でなく事実に基づいた裏付けとなる論拠で、相手にわかりやすい説明ができるよう心がけたいです。

自身が客観的事実と経験的事実をきちんと分別出来ておらずに物事を考えている所があるため、研修のスタートから混乱してしまった。業務上、多くの人員へ情報を発信する機会が多々あるので、ロジックが通った主張を発するためにも、トゥルーミン・モデルの各要因をしっかり理解していかなければならないと感じた。

人には、ビリーフがあり、逸脱することは見えない・感じないという心理的盲点があるという話をお聞きし、日々過ごす中で、「なぜこの人は同じように理解できないのだろう」と思うことがあるのですが、その疑問が解けたように思います。日々、色々な情報が飛び交う中、正確な情報を見分けて、意思決定やコミュニケーションが取ることができれば、業務効率も上がると思うので、積極的に取り入れたいと思いました。

複数の事実・状況を集めて1つの結論や推論を導く、ロジカルに展開する方法を講義やトレーニングを通して学びました。講義の一番最後のグループワークは非常に興味深いものであった一方、各項目について分析し深堀が必要な内容でしたが、考える時間が少ないまま発表となったため、多くの受講生が理解できないまま終わったように感じました。

とても難しい内容でした。ただ、他者に自分の意見をわかりやすく主張するために、トゥルーミン・モデルの各要素を意識しながら、自分の考えを整理した上で、言葉にすることを実践したいと思います。

上記考え方を繰り返し、自身の主張を分かりやすく伝え、同意を得ることを練習していこうと思いました。一方で、講義自体は、非常に興味深く注意を引く内容でしたが、講義の内容のほとんどがトレーニングから→解説という形式でしたので、①「事実」「結論」「論拠」とはどういったことを指すのか、②その「組み立て方」、その大前提となる③トゥルーミンモデル、④アドラー心理学等についてやや詳細に説明して頂きたかったです。また、最後のグループワークについては、問題の記述自体が分かりにくきちんとした説明もなかったため、急にレベルが上がったように感じ、困惑しました。時間も限られており全てを説明することは難しいと思いますが、時間配分を見直して頂くと、素人にもさらに分かりやすい講義になるのではないかと思います。

演習が難しく、ロジカルシンキングを習得するにはもう少し訓練が必要だと感じました。

「限定条件」や「例外」部分を見つけるのが思いのほか難しかったので、本等買って、具体的なワークで鍛えたいと思います。また、一番最後の問題について回答例を参考に、しっかり勉強したいと思います。ロジカルシンキングを取り入れることで、自分の意見を通しやすくなったり、思いこみにより見当違いの方向に進まないようになり、仕事上たくさんのメリットが生まれると思いました。

メンバーとワークをしながら頭の整理(ロジカルシンキング)をすることで、より実践的な研修となりよかった。

とても具体的に練習することができたので、少し前進できたように思います。自分の主張をロジカルに組み立てることも大切ですが、大切な場面で相手の主張がどのように組み立てられているか、考える能力もつけていきたいと思いました。

難しい研修でしたが、クリティカルでロジカルな伝え方はビジネスにおいてとても有効的だとわかりましたので、思考をとめることなく疑問に向き合い続け、日頃の会話からロジカルな会話ができるようにアウトプットも意識していこうと思います。

新規の仕事を依頼された場合に依頼した側もされた側も思い込みにより齟齬が生まれることがあるため「暗黙の仮定」や「ビリーフ」による思い込みを可能な限り排除していくよう意識して確認していきたいです。また、アイスブレイクの問題が脱出ゲームの問題に似ていて楽しかったです。

普段考えない分野の内容であり、非常に難しかった。実践していくにはかなり訓練が必要であると感じた。

ロジカルシンキングは、提案や報告など様々な場面で必要であり、ビリーフ(信念)への意識や論拠を明確にすることの重要性を改めて学びました。特に基幹となるトゥールミンモデルについては、根拠(空)、論拠(雨)、主張(傘)の構成は理解できたものの、裏付けと限定条件の判別がやや難しく、十分に習得できるよう深く学んだうえで、活用していきたいと思います。